

## ■背景と目的

東北地方の港湾では、東日本大震災からの復旧・復興事業の効果が発現するとともに、洋上風力発電やクルーズ船寄港等の新たな需要も発生。更に、2018年7月には国土交通省港湾局が、我が国港湾の果たすべき役割について、港湾の中長期政策「PORT2030」を公表するなど、港湾を取り巻く情勢も変化している。

第1期復興・創生期間が終了する令和2年度、策定から5年が経過する東北港湾ビジョンの見直しを行い、東日本大震災から10年の節目となる2021年3月11日、新たな東北港湾ビジョンを策定した。

東北港湾ビジョンでは、10～15年後の将来を見据え、東北地方の港湾の目指すべき方向性として3つの目標と、それらを実現するための6つの戦略を定めた。



# 東北港湾ビジョン

～環境・エネルギー新時代を創造、東北港湾の決意～



## ■東北港湾ビジョンの目標・戦略

目標1

### 東北経済を牽引する物流・産業拠点の形成

- 戦略 1-1 地域産業や市場ニーズに対応する海上輸送網の強化
- 戦略 1-2 効率的で低コストな貨物輸送を可能とするサプライチェーンの構築
- 戦略 1-3 地域ポテンシャルを引き出す新たな資源エネルギー産業等の拠点形成

目標2

### 地域の賑わい創出や豊かな環境の形成

- 戦略 2-1 地域の歴史・文化と調和した魅力ある空間形成
- 戦略 2-2 豊かな環境の形成に向けた港湾の利活用

目標3

### 安全・安心な港湾の形成

- 戦略 3 命を守り暮らしを支える港湾の強靱化

お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部  
〒980-8602 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟9階  
TEL：022-716-0006 FAX：022-716-0017  
東北港湾ビジョンHP：  
<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/s002/030/20200101082000-02.html>



2021年3月

新東北港湾ビジョン検討委員会

戦略  
1-1

### 地域産業や市場ニーズに対応する 海上輸送網の強化



- (1) 航路の維持拡大や輸送ネットワーク確保によるニーズ対応
- (2) 農林水産物・食品等の輸出促進の後押し
- (3) バルク貨物の低コストで安定的な輸送の実現
- (4) コンテナターミナル運営の生産性向上や効率化
- (5) 港湾整備・維持管理の生産性向上や労働環境改善
- (6) フェリー・RORO船航路の維持拡大

戦略  
1-2

### 効率的で低コストな貨物輸送を可能 とするサプライチェーンの構築



- (1) 物流の生産性向上や企業サプライチェーン効率化
- (2) 背後圏物流の効率化・活性化
- (3) 資源エネルギー産業の燃料調達輸送コスト削減

戦略  
1-3

### 地域ポテンシャルを引き出す新たな 資源エネルギー産業等の拠点形成



- (1) 洋上風力発電設備設置や関連産業立地による地域産業振興
- (2) 恵まれた風況等の風力発電ポテンシャル活用
- (3) 港湾周辺地域でのエネルギー拠点形成

戦略  
2-1

### 地域の歴史・文化と調和した 魅力ある空間形成



- (1) みなとオアシスの更なる活用・知名度向上や賑わい創出
- (2) クルーズ船寄港再開に備えた安全・安心の確保
- (3) クルーズ船の大型化対応
- (4) クルーズ船寄港時の二次交通の利便性向上
- (5) 国内外のクルーズ旅行客や観光客のリピーター増加

戦略  
2-2

### 豊かな環境の形成に向けた 港湾の利活用



- (1) カーボンニュートラルポート実現
- (2) 循環型社会形成
- (3) ブルーカーボン生態系の形成促進などの海域環境再生

戦略  
3

### 命を守り暮らしを支える 港湾の強靱化



- (1) 平均海面水位上昇などの気候変動対応
- (2) 地震・津波災害に加え高潮・高波・暴風災害の考慮やBCP実効性向上
- (3) 巨大地震・津波や激甚化する気象災害等へのハード・ソフト両面からの対応
- (4) 継続的な港湾インフラ機能の発揮や適切な維持管理・更新、点検業務効率化
- (5) 震災対応ノウハウや港湾の役割等の幅広い周知

# 環境・エネルギー新時代を創造、東北港湾の決意

